

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2018年4月28日～2018年5月4日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

5月1日（現地、以下同様）、格付会社のS&Pグローバル・レーティングは、トルコ経済の不均衡が拡大していることを理由に、トルコの格付けを引き下げました。また5月3日に発表された4月の消費者物価指数は、前年比で10.85%上昇と、市場予想および前月の実績値を上回る内容となり、同国のインフレ圧力の強さが示されました。

市場では、米ドル高傾向等を受けて新興国からの資金流出懸念が高まる中で、経常赤字国であるトルコの債券、通貨への売り圧力が高まりました。さらに格付けの引き下げや消費者物価指数の上振れは、トルコへの懸念をより高める結果となりました。

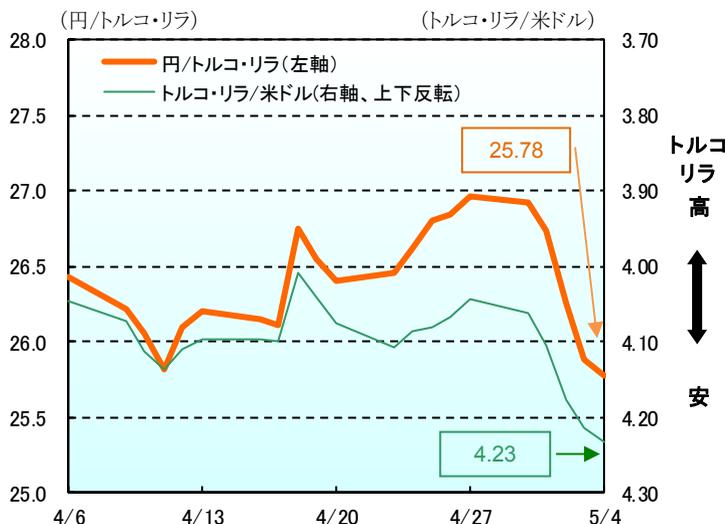
【2】今週の見通し

今週はトルコでの重要指標の発表は予定されていません。

インフレ率の加速や、足元の国際金融市場動向を受けて、トルコ中央銀行が追加利上げを含めた通貨安対策に動く可能性は高まっているとみられます。政治面に関しては、6月24日の総選挙を控えて、エルドアン大統領は、インフレ率や経常赤字を改善させるとの発言をした一方、景気刺激策を含む公約を発表しており、今後も選挙後の政策の行方に関する発言等を注視していく必要があります。

市場では、引き続き、国際金融市場でのリスクセンチメント動向に左右されやすい展開が予想されます。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年4月6日～2018年5月4日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2018年4月6日～2018年5月4日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>